

福祉問題

問 障がい者の就労支援体制の取り組みは

答 関係団体等と連携して実現に取り組む



篠崎 久美子 議員

【障がい者の就労支援について】

問 障がい者優先調達推進法施行を受けての取り組みは。

村長 調達可能な物品やサービス等の把握、調達方法などは、庁内横断的な協議で適切な対応するとともに、関係団体や事業所などと連携を図り、実現に向けて取り組みます。

問 就労希望者の相談窓口は。

村長 基本的に健康福祉課で行い、内容を伺ってから大北圏域障がい者総合支援

センター（スクラムネット）を紹介しています。

問 教育現場や社会の中で、障がい者への理解や啓

発は。

村長 学校では特別支援学級との関わりや、総合的

な学習や道徳の授業を通して、個々の特性を理解するなどの指導、啓発に努めています。

一般には12月の障がい者週間

の前後に、ユーテレ白馬やホームページ、広報誌等で啓

発活動を行う予定です。



大北地区障がい者運動会 6月15日

問 福祉の弊害である縦割り行政を改善して、ワ

ンストップサービスの充実

村長 健康福祉課長 かねがね指摘をいただいて、

村障がい者計画の中にもあり、今後充実できるよう努めます。

【フルウェーブレッジについて】

問 今後の予定は。

村長 来年3月31日までに土地は農地にして返還、

建物4棟は10月以降解体撤去する方向です。またジャンプ

競技場内に新たなオリンピック展示施設を来年10月1日開

館予定で建設する方向です。土地返還の費用は。

問

観光課長 約1000万円強と試算しています。

問 約1億円にのぼる購入・補修工事投入資金

の償還が今年度終了した後、すぐに返還することへの村民

理解は。

村長 気になっているところであり、説明をして理解を得たいと思います。

【長野県の5カ年計画を受けて】

問 県の5カ年計画「しあわせ信州創造プラン」

との関係性は。

村長 目指すべき方向は村と同じで、県や住民とともに連携して取り組みたいと考えます。

問 地域課題や情報の共有を、県と進めるためには。

村長 日ごろから連携を密にし、情報のやり取りをしながら課題解決にあたりたいと思います。

問 県との人事交流の効果は。

村長 実務面や人的つながりからも大きな効果が期待され、民間との交流も含め、可能な限り制度活用していきたいと考えます。

問 県のインバウンド観光特区構想に白馬村の名

前があるが、協働体制は。

村長 当村の意向がだいぶ入っていて、思いを共有できるところがたくさんあります。